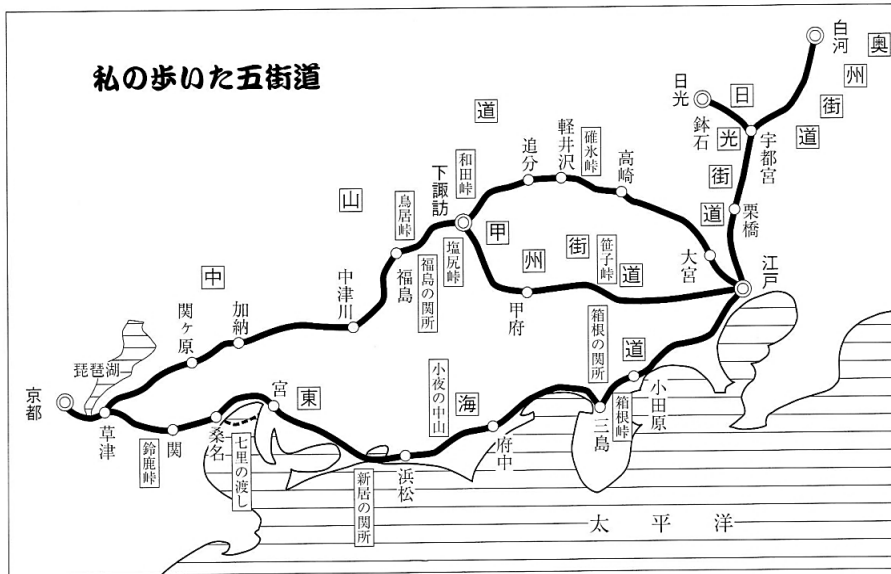


令和 6年 5月 6日

横浜歴史研究会
佐藤 猛 夫

私の歩いた五街道（東海道編）



- 東海道五十三次
(一二六里六丁) 492km
- 中山道六十九次
(一三五里二四丁) 534km
- 甲州街道四十五次
(五三里二四丁) 210km
- 日光街道二十一次
(三六里三丁) 142km
- 奥州街道十次(宇都宮～白河)
(二一里八丁) 83km

はじめに

- (1) 関ヶ原の合戦で勝利した徳川家康は、江戸を政治の中心とする都市づくりに着手すると同時に江戸へ通ずる街道の整備にとりかかった。
先ず慶長6年(1601)に東海道に伝馬制度をもうけ、翌年にはこれを中山道にも実施、以降順次日光、奥州、甲州各街道へ拡大した。
- (2) 五街道の維持管理は幕府直轄とし、公用役人や荷駄運搬の便を図るべく、宿駅の指定も当初にはなかった川崎、戸塚、箱根、岡部、袋井、石薬師、庄野等を加え、寛永元年(1624)には五十三の宿場が出揃った。
- (3) 就中、東海道は京、大坂と江戸を結ぶ最重要路であり、宿駅ごとに人馬36人36疋を常備させたが、寛永12年(1635)の武家諸法度改定で参勤交代が義務づけられたこともあり、寛永15年(1638)にはこれを100人100疋へ拡大した。

日本橋から三条大橋へ

日本橋	・慶長8年(1603)架橋	・日本国道路元標
7.8km	・高輪大木戸跡	
品川	・泉岳寺	
9.8	・問答河岸跡碑	三代将軍家光「海近くして東(遠)海寺とは如何に・・・」 沢庵和尚 「大軍を率いて将(小)軍というが如し」
川崎	・鈴ヶ森刑場跡	『磔台』『火炙台』

9.7		・生麦事件之跡
	神奈川	・フランス公使館跡(甚行寺)
4.9		・米国領事館跡(本覚寺)
	保土ヶ谷	・神奈川台関門跡
8.8		・権太坂
	戸塚	・境木地藏尊・・・武相国境
7.8		・「お軽勘平 戸塚山中道行の場」碑
	藤沢	・日本橋を発って初めての松並木
13.7		・南湖の左富士之碑
	平塚	
2.9		
	大磯	・旧跡嶋立澤
15.6		・新島襄先生終焉之地碑
	小田原	・大磯の松並木
16.5		・小田原城址江戸口見付跡
	箱根	・早雲寺 (小田原北条氏五代の墓)
14.7		・正眼寺 (芭蕉句碑「山路きて なにやらゆかし すみれ草」)
	三島	・江戸時代の石畳 ・杉並木
5.8		・箱根関所
	沼津	・箱根峠・・・相模と伊豆の国境
5.9		・山中城址
	原	・三島大社
11.7		・境川・・・伊豆と駿河の国境
	吉原	・平作地藏尊「伊賀越道中双六(沼津)」
11.1		
3.9	かんぼら 蒲原	・松蔭寺 (里謡)「駿河には すぎたるものが二つあり 富士のお山と原の白隠」
	由比	
9.1		・左富士
	興津	・平家越碑
4.1		
	江尻	・(伝)由井正雪生家
10.5		・薩埵峠
	府中	・身延道分岐
5.6		・清見寺 ・清見関跡「清見が関は片つ方は海なるに関屋どもあまたありて・・・」 (更級日記)
	まりに 丸子	・都田一家供養塔
		・駿府城跡
		・二丁町
		・芭蕉句碑「梅若菜 丸子の宿の とろろ汁」

7.8		<ul style="list-style-type: none"> ・吐月峰柴屋寺 ・宇津谷峠 地蔵堂跡「葛紅葉宇都谷峠〈文弥殺し〉」
6.7	岡部	<ul style="list-style-type: none"> ・葛の細道「駿河なる宇津の山辺のうつつにも 夢にも人にあはぬなりけり」(伊勢物語)
8.6	藤枝	
3.9	島田	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川 川越遺跡
6.5	金谷	<ul style="list-style-type: none"> ・芭蕉句碑 「道の辺の 木槿は馬に 喰われけり」 ・ " 「馬に寝て 残夢月遠し 茶の烟」 ・小夜の中山 ・久延寺に『夜泣き石』 西行法師歌碑 「年たけてまた越ゆべしと思いきや 命なりけり小夜の中山」
7.0	日坂	
9.5	掛川	
5.8	袋井	<ul style="list-style-type: none"> ・「どまん中」の看板 ・「遠州鈴ヶ森」標識
16.4	見付	<ul style="list-style-type: none"> ・「これより姫街道 三州御油まで」の案内板
10.8	浜松	
5.9	舞坂	<ul style="list-style-type: none"> ・舞坂の松並木 ・「今切の渡し」の燈明台
6.5	新居	<ul style="list-style-type: none"> ・新居関所
5.7	白須賀	<ul style="list-style-type: none"> ・潮見坂 ・境川・・・遠江と三河の国境
6.1	ふたがわ 二川	<ul style="list-style-type: none"> ・枅形の残る街道
10.2	吉田	
1.7	御油	<ul style="list-style-type: none"> ・御油の松並木
8.8	赤坂	
6.6	藤川	
14.9	岡崎	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎の二十七曲がり ・名物「八丁味噌」醸造元 ・矢作橋西詰に「出会之像」(日吉丸と蜂須賀小六)
11.0	知立	<ul style="list-style-type: none"> ・知立の松並木 ・境川・・・三河と尾張の国境 ・桶狭間古戦場 「今川上総介義元戦死所」標石、「今川治部大輔義元之墓」

	・間の宿 有松・・・有松絞商家の町並み「重要伝統的建造物群保存地区」
鳴海 6.5	・笠寺観音 ・笠寺の一里塚
宮 27.3	・熱田神宮 ・宮の渡し公園(七里の渡し) ・佐屋街道・・・寛文6年(1666)道中奉行の管轄へ
桑名 12.5	・七里の渡し場跡 ・伊勢神宮一の鳥居 ・海蔵寺(薩摩義士の墓) ・街道沿いに梵鐘を商う店
四日市 10.7	・日永の追分(東海道と伊勢路の分岐) ・杖衝坂 芭蕉句碑「歩行ならば杖つき坂を落馬かな」
石薬師 2.7	・石薬師寺
庄野 7.8	
亀山 5.8	
関 6.5	・「重要伝統的建造物群保存地区」 ・関の地藏院
坂下 9.7	・鈴鹿峠の「万人講 大石灯籠」・・・伊勢と近江の国境 ・鈴鹿馬子唄の碑 「坂は照るてる鈴鹿は曇る あいの土山雨が降る」
土山 10.5	
水口 13.7	・横田の渡し(野洲川)の大常夜燈
石部 11.7	
草津 14.3	・草津追分「右東海道 いせみち 左中仙道 美のち」常夜燈(文化十三年建立) ・草津宿本陣
大津 11.7	・瀬田の唐橋 ・義仲寺(木曾義仲墓、芭蕉墓) 芭蕉句碑「旅に病て 夢は枯野をかけ廻る」 又玄句碑「木曾殿と背中合わせの寒さかな」 ・「此附近露国皇太子遭難之地」碑 ・逢坂山関址 ・蟬丸神社上社、下社
三条大橋	高山彦九郎 像

以 上

(主要参考図書)

- ・「街道雑記―私の歩いた五街道―」 佐藤猛夫 文芸社
- ・「完全 東海道五十三次ガイド」 東海道ネットワークの会 講談社+α 文庫

- ・「今昔東海道独案内」 今井金吾 日本交通公社出版事業局
- ・「東海道さんさくマップ」 企画編集 (社)中部建設協会
監修 静岡県東海道ルネッサンス推進協議会